



橋北中学校クリーンアップ作戦



地域・保護者の支え合ってこそ！

9月18日(日)の除草作業は、3連休の真ん中であるにもかかわらず、120名ほどの方に参加いただきました。「もう、どうにもならへん。助けてください！」という学校の呼びかけに、たくさんの方が応えて下さいました。本当に、ありがとうございました。

ビフォー

→

アフター



コロナ過により大人数で集合することができず、お願いすることを^{はば}かっているうちに、運動場が草むらとなっていました。小規模校の人出の少なさが、「弱み」としてもろに出てしまいました。そんなときに、皆さんが学校に手を差し伸べてくださったことは、とてもありがたく、本当にうれしかった。私(校長)は、本校3年目を迎えますが、「やっと、学校に地域の人が大勢訪れていただけた。」という思いでいっぱいです。ありがとうございました。

体育祭や文化祭で参観者の制限は続きますが、今年は、10月30日(日)に「ごちゃまぜ祭り」「ミュージックフェス」「橋北マルシェ」が開催されます。中学校としても、「地域と協働した学校づくり」を重点項目の一つに掲げています。皆さんそれぞれ、大変お忙しいとは存じますが、コミュニティづくりのひとつとして、ぜひ、中学校への関心を高めていただけたらと思います。

もちろん、中学校もそれに応えるべく、これからも教育活動を充実させていきます。



園・小・中の連携（学びの一体化）に関わって

ご存じの通り、四日市市では、幼児からの一貫した学びを目指して、「学びの一体化」の取組を行っています。そのことに関するエピソードの紹介。

☆ 5歳児さんの遊びの様子です ☆

2022.7.27



カブラという小さな積み木。根気よく友だちと一緒に取り組み、うまい具合にしっかりと積み上げられていきました。「私たちの背と同じくらいまで積めるかな？」3人で交替して目は真剣。慎重に進めていきます。「一緒になった」ととても満足気です。すると次は「先生と同じくらいに積めるかな？」次の目標が決まりました。「でも、もう届かないね」「椅子に乗ったらどう？」先生の背まで達すると、

次は先生も手伝ってくれたそうです。

子どもたちは『遊び』の中で「高さ」という概念を感じながら学んでいます。私より「高い」まだちょっと「低い？」目で見、言葉を獲得していきます。私たちの背と先生の背とカブラの高さを比べています。手が届かなくなった時には「椅子を使ったら・・・」と道具を使い、思いを達成するために意見を出し合い工夫します。うまくいかなかった時、難しい課題に対して工夫すること、考えることができる子どもたちが素敵です。

『遊び』の中にはたくさんの『学び』があります。そんな『遊び』を日々の保育・教育の中で大切にしていきたいと思っています。

もし、中学校だったら、「まずは自分の背の高さまで積むように。」「それができたら、先生の背の高さね。」「それぞれの高さを測って比較しなさい。」と学びをコントロールしていたかもしれません。保育には、「^{じはつ}自発」という素晴らしい言葉があります。「幼児が自らやりたいことをやる中で学びが生まれる」ということでしょうか。

園の保育には、我々教員（と保護者）が学ぶべきたくさんことがありますね。

サニタリーボックスを設置しました。

職員男性用個室トイレ、多目的トイレ

加齢に伴う体調の変化や身体的理由を抱える方が使用していただけるよう、職員男性用個室トイレや校内多目的トイレ、体育館や武道場などにサニタリーボックスを設置しました。これも、地域の方々が安心して学校に来て下されるようにする取組の一つです。

ごみ箱ではありませんので、一般ごみなどは入れないでください。趣旨をご理解いただきましてご利用をお願いします。

